

観音竹が寄贈されました

玉造庁舎 1 階ロビーに展示しています

手賀在住の堀田正義さんから、玉造庁舎へ観音竹（カンノンチク）が寄贈されました。

江戸時代の初めから、福を呼ぶ縁起の良い観葉植物として人気の観音竹。玉造庁舎にお越しの際は、その 2m を超える元気な姿をぜひご覧ください。

※観音竹は玉造庁舎 1 階、正面玄関を入ってすぐ左側に展示しています。



子どもたちの交通安全のために

JA共済連茨城が新小学1年生に交通安全帽子を寄贈

3月18日（火）、JAなめがた中川治美組合長が教育委員会を訪れ、根本教育長に交通安全帽子を手渡しました。

これは、交通安全の啓発や交通事故防止に役立てて欲しいとJA共済連茨城が毎年実施しているもので、寄贈された帽子は、各小学校を通じて244人の新入生に配付されました。



なめがた農業協同組合 セリ部会連絡会



なめがた農業協同組合 玉造いちご部会

茨城県銘柄産地の指定更新を受けました

「せり」「いちご」

行方市の主要な農産物である「せり」「いちご」が、茨城県の青果物銘柄産地の指定更新を受けました。

銘柄産地は、県が食の安全・安心を基本に消費者や実需者ニーズに対応した生産・出荷に取り組み、品質等を高く評価された産地を指定するものです。

2品目とも生産者や市場関係者の苦勞により生産・販売を伸ばしてきた成果であり、さらなる産地発展のため、集まった関係者全員が決意を新たにしました。

火災の恐ろしさを肌で感じました

行方地区地域消火訓練

東日本大震災の発生以降、地域防災力の重要性が広く認識され、行方市においても、地区単位で自主的に防災訓練が行われています。

行方地区では、3月9日（日）、五町田コミュニティセンターで、子ども会や地域住民が多数参加し、行方消防署員の指導のもと、水消火器を使った消火訓練が行われました。また、煙体験ハウスが設置され、咳をしたり、涙目になるなど火災時における煙の恐ろしさを肌で感じていました。



湧き水が半世紀ぶりによみがえる

根古屋区で玉清井を整備

常陸国風土記に地名の由来がある「玉清井」。風土記によれば、「倭武天皇が、^{やまとたけるのみこと}槻野の清泉^{つきの}においてになり、水^{いずみ}で手を洗い、玉で井を清められたので、この泉を玉の清井」と記述され、水がこんこんと湧く清らかな泉であったことがうかがわれます。

近年は、湧き水が流れなくなり、ひどく濁った状態となっていました。根古屋区の皆さんが昨年10月から整備に着手し、半世紀ぶりに、湧き水がよみがえりました。



市内最大規模の小学校が誕生

玉造小学校開校式・入学式

学校等適正配置実施計画に基づき、3月31日をもって閉校となった玉造地区の6つの小学校を統合した玉造小学校の開校式と入学式が、4月7日（月）に開催されました。

開校式では、2年生から6年生までの児童531人のほか、教職員や市議会議員、地元区長など多数の出席者の前で、鈴木市長が玉造小学校の開校を宣言した後、飯島英一校長に校旗を授与しました。

その後入学式もあわせて開催され、108人の新1年生が出席者から温かな祝福を受けました。



72人の園児が笑顔で入園

麻生幼稚園入園式

麻生幼稚園と太田幼稚園とを統合して開園した新しい麻生幼稚園で4月9日（水）、入園式が開かれました。

今年度入園した園児は、年長11人、年少61人の72人で、進級した園児54人とあわせて126人という大きな幼稚園になりました。

担任の先生から園児1人1人の名前が呼ばれると、大きな声で返事をしていました。

将来の行方市を担う園児たち。集団生活を通じて、元気にたくましく育っていただきたいと思います。

第7回行方市学童野球大会新人戦

3月16日(日) 浜野球場

- 【優勝】美並エンジェルス(かすみがうら市)
【準優勝】麻生・玉造合同チーム
【第3位】北浦ペガサス

第8回行方市ジュニアソフトテニス大会

3月21日(金) 22日(土) 北浦運動場テニスコート

<初級の部>

- 【優勝】滝崎・金澤組(玉造山王)
【準優勝】関・石崎組(旭)
【第3位】千葉・金澤組(玉造山王)
【第3位】荒井・松本組(玉造山王)

<低学年男子の部>

- 【優勝】矢幡・松本組(美浦)

<低学年女子の部>

- 【優勝】熊高・生井沢組(潮来)

<高学年男子の部>

- 【優勝】金山・黒須組(神栖・牛久)

<高学年女子の部>

- 【優勝】草野・瀧口組(潮来)

- 【準優勝】草野・長野組(潮来)

- 【第3位】大場・荒木田組(玉造山王)

- 【第3位】金澤・石川組(玉造山王)



子どもたちの防犯対策のために

常陽銀行が防犯ブザーを寄贈

児童1人ひとりの防犯の一助にと、4月2日(水)、常陽銀行の麻生・北浦・玉造の各支店長が鈴木市長と正木教育長を訪ね、防犯ブザーを贈呈しました。

これは、安心して生活できる地域社会づくりの一環として、行方市内の新小学1年生を対象に同銀行が毎年実施しているもので、今年は、270個の寄贈を受けました。

防犯ブザーは、簡単な操作で大きな音が鳴り響くようになっており、「もしものとき」に備えることができます。



水仙の花がきれいに咲きました

小貫の里山「ふれあいの森」

小貫地内の里山(通称:ふれあいの森)で、水仙が見事に咲き揃いました。この里山は、小貫地区の方々が構成された「森と緑を守る会」(齋藤正代表)の皆さんが管理しています。

森の中には、会員の方々が整備した「体力づくりの道」や「お年寄り散歩道」などの散策路があり、春には桜や水仙、夏には山百合と、四季折々の花やさまざまな木々の息吹を感じることができます。

この日散策を楽しんだ方は、「この時期、森の中は花も咲き始め、散歩するのに気持ちが良いですね。歩道も整備されていて、体力づくりに最高です」と話していました。

行方市スポーツ大会出場補助金の交付について

社会体育の振興や奨励を図るため、スポーツ大会に出場する団体もしくは個人に対して市より補助金を交付します。

- ①補助対象となるスポーツ大会は、国、県、公益財団法人日本体育協会(属する専門部も含む)又は公益財団法人日本身体障害者スポーツ協会が主催し、市等の予選会を経て市代表として出場する県大会以上の大会(学校体育団体が主催する大会又は学校活動の一環として開催される大会等を除きます)
- ②補助対象者は、市内に住所を有する者及び市内に勤務する者又は市内に所在する団体で、大会要項等に基づく大会の出場登録選手、監督、コーチ等に該当する者
- ③補助対象経費は、対象者の大会出場に係る交通費、宿泊費、参加費等

※申請については、教育委員会スポーツ振興課社会体育グループまで事前に必ずお問い合わせください。

平成 26 年度行方市消防団役員

－ 新役員でスタートしました －

【本部】

団長・邊田和夫 副団長・藤崎仙一郎 副団長・伊勢山和宏 副団長・堀田悟

【麻生支団】

副支団長・小峯圭一 第1分団長・杉山勝一 同副分団長・伊藤栄司 第2分団長・東山竹雄 同副分団長・小澤信行 第3分団長・藪崎勝男 同副分団長・久保田一弘 第4分団長・根本忠雄 同副分団長・大橋聡 第5分団長・茂木一治 同副分団長・松兼一博

【北浦支団】

副支団長・高橋勲 第1分団長・真家孝之 同副分団長・空席 第2分団長・後谷俊則 同副分団長・岡崎一夫 第3分団長・本多哲也 同副分団長・宮河清 第4分団長・森崎正暁 同副分団長・久米雅文

【玉造支団】

副支団長・郡司正彦 第1分団長・阿部浩幸 同副分団長・塙一彦 第2分団長・野原藤治 同副分団長・郡司良弘 第3分団長・塙昭浩 同副分団長・空席 第4分団長・栗原繁 同副分団長・小沼精一 第5分団長・遠藤 芳行 同副分団長・羽生幹男



行方市の広報番組がスタートしました

行方の魅力発信広報番組『なめトーク（笑）』

行方市民向けの募集・お知らせ情報や行方市の観光・イベント情報などを発信する広報番組「行方の魅力発信広報番組『なめトーク（笑）』」が、4月11日（金）からIBS茨城放送（水戸局 1197kHz・土浦局 1458kHz）でスタートしました。

広報番組は、茨城放送「HAPPY パンチ」の番組内で、毎月第2・第4金曜日の午後0時40分から5分間放送され、同番組パーソナリティのたかとりじゅんさんと木村仁美さんが行方市の魅力を紹介します。

ぜひお聴きください。

法務大臣からの感謝状が贈呈されました

人権擁護委員 代々木博さん

浜在住の代々木博さんに、法務大臣から感謝状が贈呈されました。

代々木さんは、人権擁護委員として平成17年4月1日から平成26年3月31日の9年間にわたり活躍され、国民の人権擁護と人権思想の普及高揚に尽力された功績が認められました。

おめでとうございます。

